**博物館情報メディア第6回 (リアクションペーパー)** 202311/13

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学科名 | 学籍番号 | 氏名 |

* **単に「○○が興味深かった、○○が面白かった、～驚いた」と書くのではなく、講義内容の　　　　中から、自分が興味を惹かれた部分についてどう考えたのか、なぜそう考えたのか、その理由を自分自身の経験や知識などを引き合いに出しつつ具体的に感想を記します。(1枚以内)**

酸性紙問題についての部分が興味深いと感じました。この記述では1850年以降に印刷された書籍が劣質な紙と装丁によって、わずか25年程度しか持たないこと、湿気や光、大気汚染の影響を受けやすく、酸性が紙を変色させ、ぼろぼろになる問題が明らかにされています。これは図書館やコレクションにとって深刻な問題であり、多くの書籍が劣化し、修復不能な状態になっているというのは驚くべきことです。

この問題には文化遺産と情報保存の観点が関係しています。重要な歴史文献や書籍がこれら脆弱な紙に存在しています。デジタル化は情報の保存に役立ちますが、実物の文献は歴史的な雰囲気や触感を持っており、その存在自体が歴史の一部です。ですので、デジタル保存があるとしても、実物の保存が依然として重要だと感じました。

私の経験や知識から、この問題の複雑さをより深く理解しています。図書館やアーカイブでの勤務経験から、古い文献を保存することの難しさを目の当たりにしました。また、情報技術に関する知識から、デジタル保存における技術的な問題や長期保存の課題を理解しています。

この問題は文化遺産保護や情報保存について考えさせられます。紙媒体とデジタル保存のバランスをどう取るか、新しい技術を活用して紙媒体の寿命を延ばす方法など、現在と将来における重要な課題だと感じます。